

週報

国際ロータリーテーマ

人類に奉仕する
ロータリー



Vol.50 第2445回例会

2017.4.27

今年度会長テーマ

ありがとう50周年！ひとり・ひとりが主人公

■司会：
中丸例会運営委員長



■点鐘・会長挨拶・会務報告 金子会長

ロータリーにおける職業奉仕は、自らの職業に真摯に取り組むことによって自らの職業を究めていく。そこには高い道德律（倫理観）が根底にある（個人の利益のみでなく、広範囲の利益）。どちらかと言うと会員個人々の研鑽が中心で、外に向かっていく性格のものではない。現役世代の会員拡充が必ずしも十分でないなかでの、シニア世代や女性（主婦）会員のロータリー活動への参加は厳密な意味で職業奉仕を貫けないのではと言う事で社会奉仕活動へシフトしていく。今後の方向性として、職業奉仕と社会奉仕の両輪は、いずれをどのように重視するかは、各クラブの現状と将来像をみたくうえで各クラブが自主的に判断していく必要があります。



■合唱：
ロータリーソング
「それでこそロータリー」
◆ソングリーダー：
野澤会員



■幹事報告 北久保幹事

- ガバナー事務所：
「日本のロータリー100周年委員会」より趣意書の受理とアンケートについて
- 米山奨学委員会：
会長エレクト・次年度クラブ米山委員長セミナーの案内について
- 青少年交換委員会→会長・幹事・中丸カウンセラー
2016～17年度青少年交換来日学生帰国前報告会／来日学生派遣予定学生合同歓送迎会
- 国際ロータリー日本事務局→週報担当者
5月のロータリーレート 1ドル 110円
- 東京御苑RC→幹事・週報担当者
例会変更と例会日のお知らせ
- 社会福祉法人東村山けやき会→会長 礼状の受理
- 東村山市国際友好協会→会長
平成29年度東村山市国際友好協会総会開催について



■出席報告 野村会員

- 会員数：29名 ■欠席：5名 ■本日の出席者：22名
- 出席率：81.48% ■前々回出席率(修正後)：88.46%

■ニコニコBOX 森田会員

- ◆金子会長、北久保幹事：地区研修協議会報告の後半です。よろしくお願ひします。
- ◆隅屋会員：昨日家内が親睦ゴルフに参加し楽しく過ごしました。
- ◆野澤(秀)会員：久しぶりのゴルフコンペで優勝しました。
- ◆石山会員：昨日のゴルフコンペ、清水会員、隅屋会員令夫人ありがとうございました。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／岩原 隆

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

- ◆戸澤会員：ゴルフコンペ盛り上がりしました。野澤さん優勝おめでとう。
- ◆中丸会員：クラブ親睦ゴルフ、楽しい一日をありがとうございました。
- 合計：22,000円 ●累計：1,214,471円

■委員長報告

■石山次年度会長：

2017-18年度会長テーマ「行動すれば何でも出来る！希望を持って取り組もう！」行動すれば大方の事が起きていく。希望を持って取り組んでいけば、成功とかハッピーがついてくる。



■北久保ホストファミリー：

「在京地区青少年奉仕包括成果発表会」に出席しました。上山ガバナーを始め140人が集まりました。

■樺澤米山カウンセラー：

米山奨学生及びカウンセラーオリエンテーションに参加してきました。カウンセラーとしての心構えと注意事項をお伺いしました。米山奨学生期間始業式がありました。



■野村会員：

ロータリー財団100周年のシンポジウムに女性パネラーの一人として参加していた中水泉さんと言う方が、昨日の朝刊に時の人で載っていました。彼女は国連の軍縮担当上級代表と言う事でこれは事務次長に次ぐ地位です。ロータリーの資金を貰って勉強した人がほとんど重要な立場になっています。



■卓話

「地区研修協議会の報告」5大奉仕部門

■田中次年度クラブ奉仕委員長：

志熊委員長の次年度活動方針は地区内すべてで強いクラブ運営戦略の立案、積極的なIT活用、公共イメージの推進、が提案されました。次年度石山会長を支えて円滑なクラブ運営に努めます。

■戸澤次年度職業奉仕委員長：

地区職業奉仕委員長の林茂男氏がロータリーの職業奉仕について話した。日本の職業倫理は老舗の家訓や近江商人の三方良しの理念があり、ロータリーの職業奉仕はアイサーブである。奉仕の理想を追求し自己を滅却すると倫理を超えて宗教になる。しかしロータリーは倫理運動であるが、宗教ではないと結論づけます。



■樺澤社会奉仕部門代理：

園部経夫地区社会奉仕委員長から活動方針の説明があり、社会奉仕プロジェクトとして、第1に、地域社会にとって意義があるもの。第2に、ロータリアンにとって学びの機会となるもの。第3に、地域社会でのロータリークラブの役割を特定するもの。第4に、身近なリソースを生かして、ロータリアンがどのような支援を提供できるかを明らかにする。ということであると説明されました。



■中丸次年度国際奉仕委員長：

カウンセラーの戸田一誠パストガバナーより、国際奉仕委員会はわかりやすく言うとなら親睦委員会の国際版と考えられること。包括委員会として、三つの特別委員会をどう束ねていくかが課題である旨のお話がありました。小川委員長より、国際奉仕とは国際理解、親善、平和を推進していくことであると説明がありました。



■野澤次年度青少年奉仕委員長：

大西委員長より基本方針の説明として当地区のキーワードである「感動」と「調和」を指針として、参加するすべての若者たちが感動の絆で結ばれ、そして彼らがこれからの世の中と調和していく為の環境づくりが当委員会の基本方針ですと説明がありました。



■閉会点鐘：金子会長